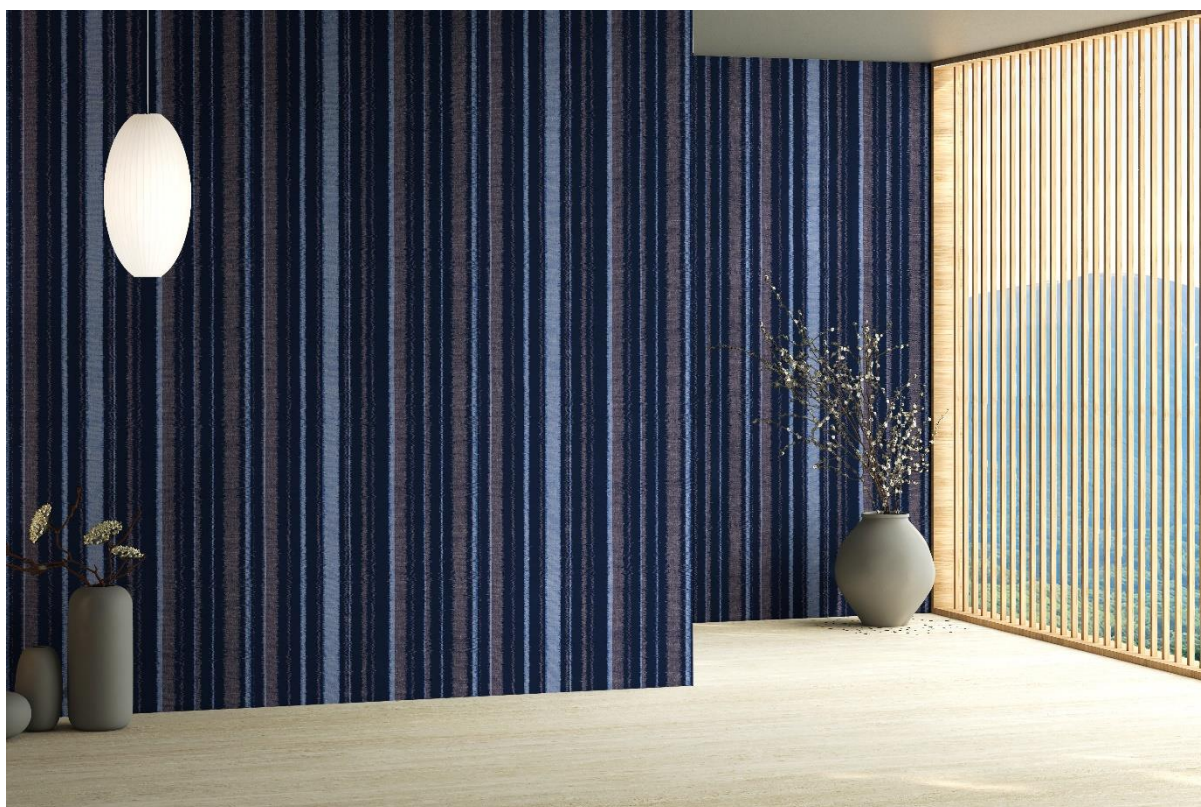

壁紙ブランド「WhO（フー）」、福岡・八女の伝統工芸品“久留米絣”がもつ 奥深い表現とその魅力を再構築する壁紙 26 点を発表 地域文化商社「うなぎの寝床」と初のコラボレーション



インテリア内装材・壁紙ブランド「WhO（フー）」（野原グループ株式会社 本社：東京都新宿区 代表取締役社長：野原弘輔）は、地域文化商社「うなぎの寝床」（株式会社うなぎの寝床 本社：福岡県八女市 代表取締役 山崎智輝）と共同で、同社拠点の福岡県八女市の伝統工芸品であり、日本三大絣の一つでもある“久留米絣”の価値の再解釈と提案を目的に、衣と空間を横断するコラボレーションプロジェクトを開始。久留米絣の生地を用いたもんぺの発売と併せて、WhO より久留米絣の魅力を体現した壁紙 26 点を 2025 年 7 月 8 日にラインナップします。

グッドデザイン賞受賞という共通点を持ち、既存の素材や製品にクリエイティビティという新しい価値をつけ製品展開してきた両者がリサーチと対話を重ねながら、単に生地・柄を壁紙化するのではなく、地域に根づく素材や技術を現代の視点で解釈し、デザインしてきました。地域産業の新しい在り方を模索し、作り手の想いや美意識を、クラフトマンシップとデジタル表現の交点で伝えることを目指しています。

織元との対話や現地の視察を通して見えてくる、久留米絣の奥ゆかしさと“あべこべ”

今回久留米絣の生地及び壁紙のデザイナーとして、テキスタイルを中心に活動するデザインユニット「pole-pole」が参加しました。制作にあたり、実際に現地へ赴き織元と対話、久留米絣の制作工程を視察する中で、三角やストライプのよう

【製品情報】

※モチーフの大小で2サイズ(イメージは「あべこべ三角 large) |



※モチーフの大小で2サイズ(イメージは「あべこベストライブ large」)

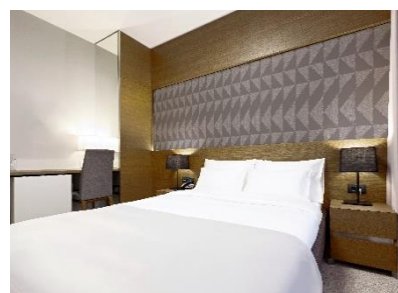
<https://whohw.jp/series/collaboration/unagino-nedoko/>

poie = poie

多種多様の企業さん、工場さんと一緒にデザイン制作や素材開発、商品企画を行っています。

その気持ちを大切に考え、デザインを構築していきました。布地と壁紙の両方で活きるデザインになったと思っています。

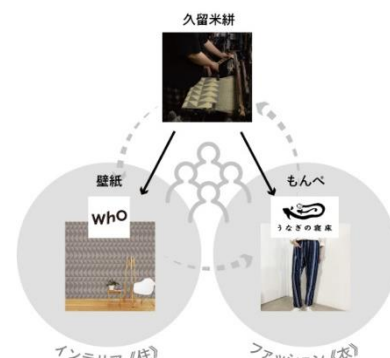
今回久留米絨を用いたもんぺと同時に壁紙のデザインへ展開するにあたり、織物としての質感や素材感を継承しながら、現代的な空間にもマッチするよう詳細にデフォルメをおこない、インテリアとして最適な色味や“あべこべ”を象徴する境界線のゆらぎを引き立てる色差を意識して開発。加えて、人と壁面の流動的な距離感を意識した2つのサイズ展開により、壁紙ならではのデザインへ発展させました。



プロジェクトの背景と久留米絣との取り組みについて

「うなぎの寝床」は、久留米絣をはじめとした地域資源を、現代的なプロダクトや仕組みに翻訳することで、継続可能な産地の形をつくる活動を行ってきました。中でももんぺの再定義はその象徴的な例であり、伝統工芸を日常の中に取り戻す視点を提案しています。

「WhO」は、表現の場としての壁紙に着目し、アーティストやデザイナーとともに空間と素材の関係を探求してきました。久留米絣が持つ“織り”の豊かな表情は、まさにその探求の延長線上にあり、地域の文化を空間デザインに結びつける可能性を強く感じたことが、本プロジェクトの出発点です。



伝統工芸の価値を、これからの暮らしや空間の中にどう息づかせていくか。

そんな問いのもと、久留米絣を軸に、衣と空間を横断するコラボレーションプロジェクトを立ち上げ、久留米絣の生地を用いた「もんぺ」と、その繊細な表情を壁紙として再構築したプロダクトを開発しました。

— 我々が見据える未来

このプロジェクトは、伝統の価値を次世代へとつなぐ新しい産地モデルのひとつの提案です。久留米絣の文化や技術を、空間づくりやライフスタイルの中に浸透させることで、市場や関係人口を広げ、地域産業の継続的な循環を目指します。たとえば、壁紙のデザインをきっかけに、初めて久留米絣に出会う人が生まれるかもしれません。また、これまで生地として親しまれてきた絣の文様や織りの表情が、壁紙や他のプロダクトに転用されることで、あらたな価値や魅力を獲得し、地域産業としての可能性をさらに広げていく——。私たちは、そんな未来を具体的に描いています。

《 GOOD DESIGN STORE TOKYO と「うなぎの寝床」オンラインストアにて“もんぺ”を販売 》

本プロジェクトから誕生したもんぺはグッドデザイン賞受賞商品のみを取り扱うデザインショップ「GOOD DESIGN STORE TOKYO」にて販売中。「うなぎの寝床」オンラインショップでは7月24日(木)より販売開始いたします。農作業着としての機能面と着心地の良さや、現代向けに変換された豊かなデザイン性が評価され、「MONPE」としてグッドデザイン賞を受賞した本商品をぜひお試しください。



■ GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA

丸の内店：東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 KITTE 丸の内3階)、オンラインストア：<https://gds.tokyo/>

■ うなぎの寝床：<https://unagino-nedoko.net/>

《 7/11(金) 20:15～ インスタライブを GOOD DESIGN STORE にて開催 》

WhO 公式 Instagram (@who_wallpaper) にて配信。うなぎの寝床と WhO が商品の魅力やプロジェクトについてご紹介します。

《 7月24日(木)～8月3日(木) 福岡・八女にてもんぺ博覧会を開催 》

全国各地を巡業するもんぺ博覧会をうなぎの寝床 旧丸林本家にて実施します。地域の織元も参加し、もんぺの展示だけでなく、さまざまな企画をご用意。詳細はこちらから：<https://unagino-nedoko.net/event/55635/>

〈 お問い合わせ 〉

WhO (フー) / 野原グループ株式会社 インテリアスタイルユニット

TEL : 03-6328-0783 MAIL : info@whohw.jp (担当：河原木)

WhO について

「WhO（フー）」は、より美しく、より愛され、より良い空間を目指し、新しい表現を模索する人のために 2015 年に立ち上げた壁紙ブランドです。2016 年にはグッドデザイン賞を受賞。空間デザイナー目線で制作されたパターンや、多様なフィールドで活躍するクリエイターによるデザイン、プロダクトやサービスなど国内外問わずさまざまなブランド・企業とのコラボレーションから生まれたデザインなど、現在では 3,000 点を超える個性的で表情豊かなラインナップが揃います。

今後一層拡大するであろう日本のリフォーム・リノベーション市場や、装飾ビジュアル化が進む宿泊施設、店舗・不動産物件などにおいて、より特徴的で美しく空間を彩るデザイン性の高い壁紙に対するニーズに応えます。

国内での完全受注生産によりデザインのカスタマイズにも柔軟に対応。作り手のこだわりに寄り添いながら、在庫を持たず素材のロスを抑え、環境配慮にも繋がっています。さらにデジタルカタログの採用により、紙カタログの使用と仮定した場合と比べて CO2 排出量の削減にも貢献*1。室内空間における VOC などの化学物質の排出に関して一定の基準をクリアした「GREENGUARD Gold 認証*2」を取得したインクを使用するなど、サステナブルなビジネスモデルを展開しています。

*1 米国の UL Solutions 社によって評価された、健康への影響や環境性能を示す認証

<https://japan.ul.com/resources/greenguardcertificationprogram/>

*2 参照：<https://whohw.jp/about/>

WhO



うなぎの寝床について

うなぎの寝床は、福岡県八女市を拠点とし、地域に伝わる歴史や文化を独自に研究し、現代において経済的・社会的につないでいく仕組みを見出す「地域文化商社」です。2012 年 7 月に創業、2016 年にはグッドデザイン賞を受賞。次世代へ継承していく「地域文化（ものづくり、まちづくり、食文化など）」の価値を見立て、社会とコミュニケーションを取れる商品・サービスを構築し、それが浸透していく仕組みを整え、つくりて（生産者）、つなげて（地域文化商社）、つかいて（生活者）、そしてその先にある地域資源や自然も含めた生態系をつないでいきます。



うなぎの寝床

野原グループについて

野原グループ株式会社を中心とする野原グループ各社は、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッションのもと、変わる建設業界のフロントランナーとしてステークホルダーの皆さまとともに、サプライチェーンの変革と統合を推し進めます。

社会を支える建設産業の一員である私どもが、業界から排出される廃材量や CO2 の削減、生産性向上による働き方改革を実現し、サステナブルに成長していく未来の実現を目指します。

<https://nohara-inc.co.jp>



建設DXで、社会を変えていく